



今月の巻頭文は3つです。①西山提案②南郷(ちょっとひとこと…)③堀田マーコ(終戦秘話を読んで)

① 西山さんから提案がありました。以下…

大石さん



ありがとうございます。

八期オンライン通信第58号なかなか読みごたえがあります。

毎年8月15日が近づくと「8月15日の思い出」を募ってはどうかろうと思っていました。

あとき、どこで何をしていたか、その後、どのようなことをしたのか

せざるを得なかったのか、7月末辺りを目途に募っては如何でしょうか？

「八期オンライン通信」形式で発行すればよいと思います

お手間をかけることにはなりますが、ご一考くだされば幸いです。

戦争は嫌だと言っても降りかかる火の粉どころか爆弾は払わなければなりません。

ウクライナ、世界の世論が少しでもロシアの筒先を鈍らせることを期待しています。

今回の状況と解決策が台湾進攻を思い止ませる前例にまでなればよいのですが…

=====

西山 和宏

=====

南郷善之助 2022年3月3日

…ちょっとひとこと言わせてください！！

平和ボケしている日本人、戦後、アメリカにすっかり洗脳され、75年たった今でも、夢からさめずにアメリカさんに守って欲しいと願っている我がニッポン。

日本国民は、今回のロシアとウクライナの戦争をどう見ているのでしょうか？

逆らえば武力を行使するという論理は、その昔(1609年)薩摩が琉球を征伐した時に似ている。

当時、琉球は薩摩に何の悪いことをしたわけではなかった。ただ、「わが意のままにならない」という理由だけで侵攻した。強者の論理というのはそんなものである。今度は日本国民も少しは眼が覚めただろうか？

明日は我が身と…しっかり備える意識が芽生えてくれればよいと思うけど？

—日本はすぐ隣に中国や北朝鮮といった危険な核保有国が控えている。

日本が中国や北朝鮮と今の状況では仲良く出来るとは思えない？とりわけ、北朝鮮は不気味だ。

そのためにも自分の国はしっかり自分たちで守る、そのためにはやはり備えだと思うけど、今だに政治家はこの議論には積極的では無い。

憲法改正問題しかり、アメリカとの安保条約や地位協定など…今だにアメリカの言いなりで中国に対してもシッカリ物がいえ無い国になっている日本。

このままだといつかは中国の属国になってしまうかもしれません。

私は今回のロシアとウクライナの戦争で、日本の役割りがあった様な気がするのです。

それは今回こそ、安倍晋三元総理に世界の為に一肌脱いで欲しかった。そんな気がしてなりません。



安倍さんは元総理時代にロシアのプーチン大統領とは30回近く首脳会談をしている旧知の中。報道の中ではあるが、二人はファストネームで呼び合うほど、お互いに気心の知れた友達みたいだった。

こんな時こそ、安倍氏はロシアに出向いて、プーチン大統領を説得する事が世界の為に貢献できる、最大の役目ではないだろうか？

現役のころは散々世界中を飛び回って日本の地位を高めていたように思うけど。

～もし安倍さんがプーチン大統領を説得して情勢を変えられたら、それこそ、安倍さんと言う政治家は、世界中から一目おかれる、世界の歴史にその名を残す唯一の人物として、存在感が示されたのではないでしょか。

残念ながら、今の日本の政治家で、世界で発言力を発揮出来る様な人物は他にはいませんからね。

### ③終戦秘話から

#### 塞翁が馬② (さいおうがうま)

堀田マーコ

ご多分に漏れず 愛車を手放してからの 私の生活パターンは こうなった。

我が家の前から館山駅行きの一番バス🚌7 時 15分に乗る。乗客は一人乗ってれば良

い方である。 この バスが通学🚶時間バスで、昼間はほとんど通過して走るバスが各駅停車になる。



始めは中学生が1~3名位で乗って来る 慣れたものでバスの奥 一段高い方から詰めて座る。

駅までの半分位 行ったところのバス停🚰から 小学生が20名程乗ってくる。市営住宅があるらしい。そ

の中に昔の私を見る様な 小さくて細い子👧が 身体より大きなランドセル🎒を背負っている 席を代わっ

てあげたいけど！まあ待てよ！ 自分の年も考えた？ 私だって小さい時も 頑張って生きて来た。この子だ

って そうやって だんだん大きくなって行くの だろうと、

せいぜい 「此処に！つかまりなさい！」 という位で...我慢している だから前の方には乗らない。

この頃は 真ん中に乗る様にしている。気の効いた運転手さんなら「学生さんが乗りますから・・・」

考えて座ってくださーい！と言いたいらしい方もいる。この辺のバス🚌は 乗るも 降りるも 前のドア一つである。

小学生が 館山小学校前で降りると バスの中は半分になり それから駅前終点から2つ手前の NTT 館山前で 中学生が30名降りると、ここは、八期会🏌️ゴルフ解説者 勝みなみ担当の 藤田晃洋氏の 平成の初め 職場だったところだそうです。藤田くんは 江戸川の家の前を 川を渡ると 市川市 その右の方に住んでいた。そのころは まだ携帯も無く テレホンカードが 全盛期の頃で 彼からよく買っていた(彼はNTTの社員) うちも娘やらがいて 少しは必要だったが 中・高校と私立に行った次男の親友が 岡山医大に行っていて その母親とも 役員をしていて 仲良くしているし 一人っ子の大金持ちで カードが無いと電話

が掛けられない頃だった それでよく 藤田くん に 買ってもらったのよ・・・

・・・つい、悪い癖が出て、話が横道にそれてしまいました！！

バスの中は 5・6 名の大人が乗ってれば良い方で バス🚌は一路駅前に向かって走る。  
学校が休みの土曜日・日曜日になると 一分違いの 東京駅行きの『乗り継ぎバス』に乗れる。

これが田舎のバスの一日の始まりです！ **愛車を手放したからこそ** 見える風景も 得難いもの

(追憶)

…飛行機はいや！！インフルエンザでは死にたくない！！とどのつまりは死にたくないのだ。

そんな 私ですが これからも 一塞翁が馬—の精神で生きていこうと思っている。

2009年2月の私のエッセイ『塞翁が馬』ラストより…

先日、八期仲間で話題になっている鶴丸高校の同期誌『終戦秘話』を読ませて戴きました。

6歳くらいの子供があんなに記憶力があるものかと感心致しました。怖かった記憶だからでしょうか？

私は宮崎の田舎にいて・・・(申し訳ないみたいですが) 空襲の記憶はありません！！

私はほんとうに小さくて病弱だったのか？いつも白い着物(寝巻)を着て寝ていた気がします。

小学校五年生の時も小さくて 学校でも・・・大隈直美ちゃんの後をついて歩いていました。

(直美ちゃんは6年生の時と同じ身長でそのまま大人になりました) 私は 市電に乗る時も直美ちゃんの後ろについてタダで乗っていました・・・が、ある時 車掌さんに「妹さんも学校に行ってるのでしょうか？」と言われてやめました。

父が・・・おまえは小さくて可哀そうだと言って、割と早くにランドセルを買ってくれました。

勿論、皮などではなくて、布の固い生地だったように記憶しています。一青色にお人形さんが足を横にして座っていたと、思っていました・・・この本に ランドセルのことも書いてあって 旧軍隊のテント用布地とありました。

当時のことで、写真もないし…何時も脳裏にあります。

読み終わって二週間のうちに主人も読みました。主人の実家は両国国技館の近くで、JRの線路から50mの家は強制疎開で小岩に移動・・・そこも危なく母親の里(岐阜)に行ったそうです。

読ませて戴いて驚いたのは・・・ご本人を知っている副島律子さんの事です。

長田中3年の時はお隣の組であまり詳しくは無いのですが、読みながら30年ほど前の出合いを思い出すことでした。

平成の4年か5年??に東京プリンスでお会いしました。

何の集まりだったのか今思い出しませんが…年度だけは、堀田の父が入院していて看病をしていた頃でした。私が 少々疲れていて…副島さんに親切にして頂きました。

長いこと大事な御本をお借りしてありがとうございました。

月末になりましたら江戸川へ・・・三年目の桜を観に行きます。

コロナも・・・まもなく収束することでしょう・・・

堀田マーコ 令和3年3月23日



「西郷隆盛の征韓論」について書いてみました。

**ご意見があれば遠慮なく書いてください。**

そしていろいろご教示ください。

隈元達雄

<https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/>

○難題に取り組まれたことに敬意を表します



このことについて整理はついていませんが、少しばかり、思っていることを書いてみます

私は征韓論とか征韓論に敗れとかは、このの本質を見失わせていると思っています。

板垣退助への手紙は、当時、最も激烈な征韓論者であった板垣の行動を抑えるもので

板垣の論に反対するのではなく、必ずあなたの希望通りにするから

まずは、私を朝鮮に行かせてくれというものであったと思う。

西郷さんは、徳川慶喜に切腹させると最も過激な意見を吐いて強硬派の声を抑えた山岡鉄舟あたりに言われて、穏便な措置をとるような状況ではなかったはずである。

慶喜に穏便な措置は、最初から考えていた筋書きであったろう。

西郷さんは禁門の変でも長州兵を丁寧扱ったが、会津は斬った

それが激烈な会津城攻めになった。

終戦直前、阿南惟幾陸軍大臣は、陸軍の先走りを抑えるために、本心とは異なる戦争継続を主張したと、「大日本帝国最後の4か月；迫水久常著」にある。

そのことを察していた鈴木貫太郎が侍従長であった阿南は侍従武官であった。

終戦には鈴木と阿南の阿吽の呼吸があったと思う。

ここままで、指摘したいのは、西郷さんには、私が行けば戦争にならず必ず説得し平和裏に収められるという目算があったと思う。

ところが周囲に戦争をしたがる輩をなだめるために

私が行って殺されたら出兵の大義名分がたつと、強硬派を抑えたのであろう。

より過激な論で強硬派を抑えるのは、西郷さんが最も得意とするところである。

さて、最も述べたいことは征韓論に敗れて下野という見方は短絡的だと思う。

廃藩置県直後の2年近くも確たる目的も成果もなく外遊した者たちに

反対されたことは、腹に据えかねたと思う。

かねてから大名のような生活ぶりにもあきれていたと思う

維新によって、何をなすべきかについて、考えや意見に大きな違いがあった。

明治6年の政変の本質は、征韓論ではなく国家運営に対する考え方と

生活態度の批判であった。

そのような政府はやがて瓦解すると、西郷さんはよんで鹿児島で兵を養いことにした。

佐賀の乱は、政府瓦解の前に起こったので、西郷さんの予定とは違った。

西南戦争が起こった遠因または真の原因は、政府首脳の腐敗にあった。  
それを証拠立てるものとして、明治を通じて汚職がなかったという。  
これは西郷さんの置き土産です。

プーチンも習近平も汚職腐敗退治で国民の支持を得ている。

=====  
西山 和宏



○隈元 達雄 様

隈元様が、西郷の「征韓論」について、桐野作人氏の講演から、新たな見解を述べておられる。  
自分は今は、特に帰郷後、「郷土史」でも狭い範疇ですが、島津宗本家を中心とする島津家一族に関して、  
ちょっぴり、「お勉強」を継続している。

在京時代は、島津関係の「蔵書」など1冊も保持しておらず、  
実は、小学生の頃から、「西郷隆盛」という人物に傾倒して、いろいろそれなりに「本」を読んできた。  
オヤジが、地元江戸時代からある「郷中教育」の「精研舎」という組織で、5～6歳ごろから「舎の教育」を受けて、当時は先輩の「オセ」の方々から柔剣道のほかに、「西郷遺訓集」を教えられたと、いつも話を聞かせていました。

学生時代から「西郷信者」とも言うべき輩で、手当たり次第に西郷についての「書物」を読み漁ったものです。  
特に、鶴丸高時代は、加治屋郷の「西郷誕生地」などが、近くにあり、異常に関心を持っていた時期でした。  
後年、息子にも西郷の偉さを説く始末で、息子も高校時代から「西郷関係の蔵書」を漁っており、おそらく今も自分よりも多くの「蔵書」が本棚にあると思います。  
それほど、オヤジはじめ、自分、息子まで「西郷ファン」でもありました。

前置きが長くなりました。

結論から言えば、桐野作人氏が指摘されている事、まったく同感です。ただ、自分なりの「想い」は若干、氏とは異なります。

翻れば、「明治維新」は、それまでの長い「武家政治制度」を根幹から、民主共和制にする意図で、  
主に、薩長土肥のどちらかと言えば「下級武士の志士集団」が決起して、時の徳川慶喜武家政治を「倒幕」に  
導いたのが「明治維新」であります。それには、旧各藩の庇護のもとに組織された武士階級の「兵士達の縦横の活躍」で、  
明治維新が成し遂げられています。

維新成立直後、欧米の政治・経済体制の修学と不平等条約の改定という趣旨で、大久保・岩倉などの明治政府の重鎮  
たちが、大勢で2年近くも、まだ、固まっていない政治状況の中で、「外遊」しています。

残された西郷・板垣・後藤らの「サムライ」が、各藩主たちの猛反対を押し切って、困難な「廃藩置県」や「学校制度の確立と施行」などをやり遂げています。

そこで、明治維新となったことで、より平和の時代になったことで、すぐには「軍隊組織」などは必要ではなく、それまでの「武士階級」の人達の扱いが、問題になったのでしょう。

勿論、県、市、町、村の「行政官」としてのいわゆる「官僚」もありましたが、全国の治安を司る「警察機構」（東京では警視庁の創設）の構築などで、  
主に、それまでの下級武士集団の将来の「活躍の場」（つまり、生計を維持するため）が用意されました。

それでも、鹿児島などは、当時は「武士」と呼ばれる集団は、「外城制度」を採っていたことで、他県に比べて、「武士」の数が異常に多く、

その彼らの将来の「生き様」を模索するに、西郷さんらの首脳部は苦心されていたと思われます。

その以前から、西郷の弟の西郷従道が、台湾の統治を手掛けたり、琉球・朝鮮への海外への貿易・通商などのアプローチがなされていたのですが、朝鮮との交流がうまくゆかず、その打開のために、西郷が主唱したのが「自分がまず、朝鮮へ赴き、誠意をもって交渉する。その後、具合が悪ければ、それなりの威嚇を行うについては、「軍隊」を用意すべきである」との「主張」であったと思われます。

欧米の近代的な国家を学んでき大久保以下の各重鎮たちは、「今は、国の振興を図るべきだ。海外への進出など反対」とことで、西郷らの意思が抹殺されたのです。

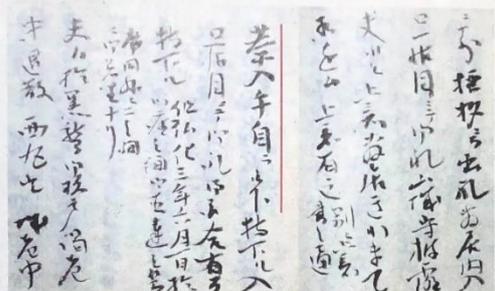
そこで、西郷は 下野して鹿児島へ帰り、今まで自分らの理想郷【明治維新の確立】のために奮闘してくれた武士集団の事での、「私学校の開設」「吉野台地の農地開墾事業」「寺山開墾社」などの事業を起こし、武士階級の「活躍の場」というより生計を立てる事に腐心したのです。

したがって、西郷は、常に、倒幕運動から明治維新成立まで、共に苦勞して戦った「武士集団」の今後の「生き様」をいかにみいだしてやるかに、心を注いでいたことの一環として、この「征韓論」は、自分がたとえ倒されても、フリーとなっている武士集団の将来を慮っていたという解釈も成り立つと思います。

さらに、付き加えますと、西郷は大久原が欧米に外遊している時に、きわめて藩主らの猛反対の中、「廃藩置県」を断行した事、これが、大久保らのその後の「行政」がうまく作動した理由であり、その功績は、最たるものであると思います。

付け加えるならば、西郷や大久保、あるいは長州・土佐の下級武士階級の「倒幕への動き」など、各藩体制の中で、彼らの行動を、賛成はしなかっただろうが、主に、反対をしなかった。特に、薩摩藩の島津齊彬や、久光らの「黙認の姿勢」は、今までの「武家社会」では

## 齋興隠居の背景 書状に



島津久光は幕末の薩摩藩の指導者で、維新の功績抜群だったが、藩主ではなかった。新政府はこれに報いるべく久光に別家を興すよう命じ、明治4(1871)年、玉里島津家が誕生した。玉里の名は、明治10年以降、久光が居住した玉里邸(現鹿児島女子高校)が由来である。同家が大切に保管してきた「玉里島津家資料」2万冊、島津齊彬が将軍から隠居を勧められたことを記した「動向扣」とめむきひかえ(三)茶入れ手すから下され(傍線部)とある。



■ 黎明館芸芸専門員 崎山 健文  
さきやまたげふみ氏 1969年薩摩川内出身。島根大学法文学部卒業。高校教師を経て、2006年から黎明館学芸員。2009年から同調査史料室。19年から同学芸員。著書『幕末維新の物語』。

6日まで。一般400円、高大生200円、小中生100円。同館11009(22)5100。

### かごしま文化語

齋彬の蘭学趣味が財政面から危険視されたことなどが原因であるが、家督問題は、お家騒動(高崎崩れ)にまで発展し、齋彬自身も窮地に追い込まれた。

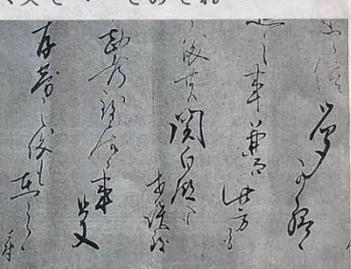
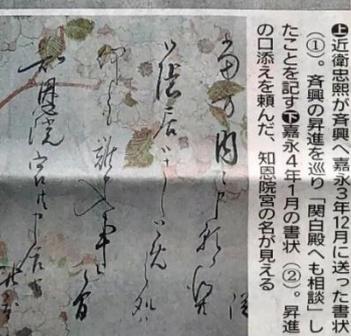
この状況を打開したのが老中阿部正弘や、親戚の福岡藩主黒田齊博、宇和島藩主伊達宗城らであった。彼らは齋彬と連携し、齋興の虚偽報告を材料に、隠居せざるを得ない状況を整えた。さらに、將軍徳川家慶から遠回しに隠居を勧める術を採った。

この時の江戸城でのやり取りを、齋興自身が詳細に記した資料が「動向扣三」である。嘉永3(1850)年12月3日、將軍から「別段の訳を以て伝来の茶入(朱衣肩衝)を渡す」との旨があり、手すから下されたことある。武人に茶器を下賜するのは隠居せよとの意味で、隠居は不可避となった。

ところが、齋興は隠居願を出そうとしなかった。家格を超えた従三位昇進という宿願があり、隠居後の昇

進は原則認められなかったためである。祖父重豪は隠居後に従三位に昇進したが、これは実の娘度姫(広大院)が將軍御台所であったのが1月25日(推定)、齋興が幕府に隠居願を提出したのが29日、決め手となった書状といえる。

將軍家と近衛家という公武の最上位の家力を借りた、いわば贅沢な隠居であった。ちなみに、齋興が昇進を遂げたのは7年後、篤姫が將軍家に入嫁した翌年の安政4(1857)年

近衛忠照が齋興へ嘉永3年12月に送った書状(1)齋興の昇進を巡り一関白殿へも相談したことを記す(2)嘉永4年1月の書状(2)昇進の口添えを頼んだ。知恩院の跡が見える。

この前後に伊達宗城らへ宛てた齋彬書状(「鹿児島県史料 齋彬公史料1」)所収に②と重なる部分があるが、齋興と齋彬の連携がうかがえる。②が江戸へ届いたのは1月25日(推定)、齋興が幕府に隠居願を提出したのが29日、決め手となった書状といえる。

齋彬の蘭学趣味が財政面から危険視されたことなどが原因であるが、家督問題は、お家騒動(高崎崩れ)にまで発展し、齋彬自身も窮地に追い込まれた。

この状況を打開したのが老中阿部正弘や、親戚の福岡藩主黒田齊博、宇和島藩主伊達宗城らであった。彼らは齋彬と連携し、齋興の虚偽報告を材料に、隠居せざるを得ない状況を整えた。さらに、將軍徳川家慶から遠回しに隠居を勧める術を採った。

この時の江戸城でのやり取りを、齋興自身が詳細に記した資料が「動向扣三」である。嘉永3(1850)年12月3日、將軍から「別段の訳を以て伝来の茶入(朱衣肩衝)を渡す」との旨があり、手すから下されたことある。武人に茶器を下賜するのは隠居せよとの意味で、隠居は不可避となった。

ところが、齋興は隠居願を出そうとしなかった。家格を超えた従三位昇進という宿願があり、隠居後の昇

進は原則認められなかったためである。祖父重豪は隠居後に従三位に昇進したが、これは実の娘度姫(広大院)が將軍御台所であったのが1月25日(推定)、齋興が幕府に隠居願を提出したのが29日、決め手となった書状といえる。

將軍家と近衛家という公武の最上位の家力を借りた、いわば贅沢な隠居であった。ちなみに、齋興が昇進を遂げたのは7年後、篤姫が將軍家に入嫁した翌年の安政4(1857)年

いけないということで、自分らの「藩主」の立場が消えることを承知しながら、西郷らの行動を見ていたこと、注目すべきです。今までの「大河ドラマ」などの脚本は、特に先年の「せごどん」ではNHKでは、島津久光を「悪者扱い」に描いているシーンがありました。これなどは、大いに、反省する必要があると思います。西郷隆盛については、鹿児島県人であれば、関心のない方はいないと思います。

後年、永吉南郷会の研修旅行で、大分の「戸次川の戦い」【へつぎ】の跡などへ訪問した折、延岡市の「可愛岳」(西南戦争の時、西郷軍が敗退を受け入れて、その後一路城山を目指した地点)も訪れてました。西郷隆盛の最後の「生き様」も見られました。



○西山さん本田さん

私の「西郷隆盛の遣韓論・征韓論」について早速、長文でのいろいろなご意見、ご教示をいただきありがとうございます。ございます。

返事を書かれた時間を見ますと、夜遅くまでお騒がせしたようで申し訳なく思います。

本田さん、西山さんの歴史を多角的に展望されていることに改めて触発されました。

私も今後はそういう観点から深読みして駆け引きなどもあった歴史を見なくてはいけないと思います。

いずれにしても、西郷さんの自分を捨てて士族を立てようとした姿勢は現代の政治家にも大いに学んで欲しいものです。

○4日大石情報



今日の南日本新聞記事はなかなか勉強になりました。

とりわけ、久光公を取り巻く藩内や幕府内や朝廷まで含めて今迄は西郷や大久保など倒幕派側から幕末を見ていた。

単純な田舎大名という役回り演じさせられていた久光公側(玉里島津家)に立って歴史を眺めてみるとその景色が違って見えてくる。

**今日の「切抜き」も重豪～斉興～斉彬～久光の子へと続く薩摩藩主の内側を垣間見ることが出来た。**

6回にわたって、こういう記事としては珍しく日々連続記事？で掲載された。

ひとびとの記憶から忘れ去られていく...このような記事を掲載することこそ地方紙の役目かもしれませんね。

○2022年3月4日(金) 22:45 Kazu



島津斉興隠居に関わる話はいろいろな物に書かれていますので作家や歴史家が閲覧していたのでしょう。でも玉里島津家のことは初めて知りました。

## 崎山 健文

1969年薩摩川内市出身。島教諭を経て、2006年から黎明同調査史料室。19年から同学

島津久光は幕末の薩摩藩の指導者で、維新の功績抜群だったが、藩主ではなかった。新政府はこれに報いるべく久光に別家を興すよう命じ、明治4(1871)年、「玉里島津家」が誕生した。「玉里」の名は、明治10年以降、久光が居住した玉里邸(現鹿児島女子高校)が由来である。同家が大切に保管してきた「玉里島津家資料」2万

5千点は黎明館に寄贈された。幕末の歴史を語る上で不可欠の存在だが、点数の多さゆえに、公開に至っていない資料も相当数ある。「玉里島津家資料展」は、

その未公開資料に光を当てる企画展だ。ここでは、久光の父島津斉興(10代藩主、1791~1859年)の隠居に関する新資料3点を紹介したい。

斉興が嫡男の斉彬になかなか家督を譲らなかつたことは、よく知られている。

ま 語る

明治4年

7月；廃藩置県

9月；玉里島津家 誕生

11月；岩倉使節団 欧米へ出発

廃藩置県に怒った久光を宥めるために

玉里島津家を誕生させて大名処遇にしたのであろう。

でも、ちょっと遅い。そのために、西郷さんは苦労した。

### ○大石より



玉里島津家資料展を過日観に行ったけど、その時は島津家資料(文書)などは観るだけで文字を読めない(達筆と思うだけで)のでよくわからなかった。

撮影自由との事だったのでいきおい見映えのするものばかり撮った。

でもこうして専門家の解説をみるとよくわかる。

西山さんの「過去に公開されてたか？」については伊敷の玉里邸では公開されていたのかも知れません。隈元氏に訊いてみないとわかりませんがぼくはそこに行ったことはありません。

記事によると保管していた資料2万5千点を黎明館に寄贈したがそのまま(多すぎて)倉庫に眠っていた...つまり未公開だったのではないのでしょうかね。

おそらく郷土史家(作家)のどなたかがそのうち徹底的に久光公に焦点を絞ってこの2万5千点の資料をもとに本を発表する時が必ず来る事でしょうね。



○最幕末・明治維新初期の頃、島津久光の人気は高く西郷隆盛に次ぐものであったそうです。そのため、明治政府も気を使ったのでしょう。

斉興に茶入れを下賜して隠居を強いた、官位が欲しくてなかなか隠居しなかったなどいろいろなもの書かれている通りであったようです。以前から公開されていたのでしょうか？

○玉里島津邸には3回ほど行ってブログにも書いていますが、私たちの目につくところには資料などの展示もありません。



ただ、いつもは公開しない「上の庭園」という場所が年に2回公開することがあるようですが、まだその時に行った事はありません。

庭園は流石に素晴らしいものがあります。

今度「上の庭園」の公開があった時に行きましようか。

隈元達雄

○ありがとうございました。



県の歴史資料館が黎明館なら、市の歴史資料館として玉里邸を新たに建設すれば良かったのに先の森市長は少なくとも3ヶ所は市の公共の箱物を作りました。

せっかくの貴重な島津家の資料2万5千点が結局は倉庫に眠ることになります。

やはり鹿児島では、

久光公より西郷さんの方が西郷墓地に『顕彰館』を持っていて、常駐の館長付きて幸せですかね。

○島津斉興隠居に関わる話はいろいろな物に書かれていますので



作家や歴史家が閲覧していたのでしょう。

でも玉里島津家のことは初めて知りました。

明治4年

7月；廃藩置県

9月；玉里島津家 誕生

11月；岩倉使節団 欧米へ出発

廃藩置県に怒った久光を宥めるために

玉里島津家を誕生させて大名処遇にしたのであろう。

でも、ちょっと遅い。そのために、西郷さんは苦勞した。

=====

株式会社エムエフアイ

西山 和宏

○山ヶ野 6 最終回と斉興隠居の背景(かごしま文化を語る)



大石より

玉里島津家資料展を過日観に行ったけど、その時は島津家資料(文書)などは観るだけで文字を読めない(達筆と思うだけで)のでよくわからなかった。

撮影自由との事だったのでいきおい見映えのするものばかり撮った。

でもこうして専門家の解説をみるとよくわかる。

西山さんの「過去に公開?されてたか?」については伊敷の玉里邸では公開されていたのかも知れません。

隈元氏に訊いてみないとわかりませんがぼくはそこに行ったことはありません。

記事によると保管していた資料2万5千点を黎明館に寄贈したがそのまま(多すぎて)倉庫に眠っていた...つまり未公開だったのではないのでしょうかね。

おそらく郷土史家(作家)のどなたかがそのうち徹底的に久光公に焦点を絞ってこの2万5千点の資料をもとに本を発表する時が必ず来る事でしょうね。

## ○山ヶ野6 最終回と斉興隠居の背景(かごしま文化を語る)

今日の南日本新聞記事はなかなか勉強になりました。



とりわけ、久光公を取り巻く藩内や幕府内や朝廷まで含めて今迄は西郷や大久保など倒幕派側から幕末を見ていた。  
単純な田舎大名という役回り演じさせられていた久光公側(玉里島津家)に立って歴史を眺めてみるとその景色が違って見えてくる。

今日の「切抜き」も重豪～斉興～斉彬～久光の子へと続く薩摩藩主の内側を垣間見ることが出来た。

6回にわたって、こういう記事としては珍しく日々連続記事?で掲載された。

ひとびとの記憶から忘れ去られていく...このような記事を掲載することこそ地方紙の役目かもしれませんね。

○3月6日

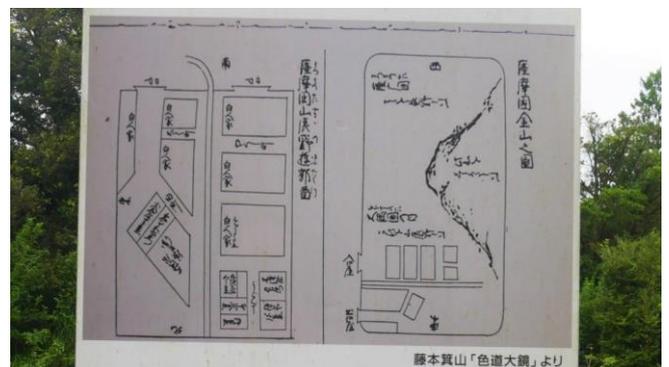


時の流れは恐ろしいものです。  
かつて栄えた場所も跡形もなく消えてしま  
う  
また、そうでなければいけないのかもしれ  
ません。

山ヶ野金山の遊郭があったのは、田町という場所で、  
6軒の遊女屋がありました。

門司と長崎について出来た遊郭で、九州三大遊郭とい  
われていました。

現在は、田んぼになっています。



○6日7時

先日紹介した私のブログにある2018年に鹿児島史談会主催のバスツアーで永野金山、山ヶ野金山を訪問した時も



遊郭跡という場所を通りましたが、バスの上から見たのは全くの田んぼでした。

そこに白い縦長の案内板に「遊郭跡」の表示があっただけです。現在は道路も舗装されていますが田んぼの他には何もありません。

永野金山跡も山ヶ野金山跡も史蹟としていろいろなものが残されているので、たまに訪れる人があるのですが、それがなければもうほんとに普通の田舎という感じです。

歌ではないですが「昔の光 いまいずこ」そのものです。だけどいいところですよ。 隈元達雄



03月6日 館山駅前のロータリーのパンジーのかまくらです



ある人に送ったら 初めて見たと言いました？もしかして 貴方もですか？  
これは去年のなのよ今年は黄色👉ばかり花も種類もだから 去年の送ってます

Kさんのありがと👉ございました。私には理解出来ない事を言うのでね

「アドレスのメールは読めないで たまってしま

この前も 20 位あって貴女のメールが 3 つもあった

携帯換えたいけど買ったばかりだし・・・」とか

メールって たまったら 前のは自然に消えて行くのでは無いですかね！

同じ受信に入るのに SMS は

読めるのですか あちらからも勿論 SMS で送信してきます。だから写メール📷✉️は出せません！今度ラインで送信したら ビックリ😱するから楽しみ \ (^\_^\) /

おひな祭り👧👱に産まれたの

N ヒロミ さんです

以前 内緒で教えたでしょ

玉龍落ちて 西田先生手こずらした方 ボーダーラインの人が落ちると大変だったのよ😊 昨年位についてに私は数学が悪かった とか

言うので・・・貴女ね！ もうこうなったら どの学校でたなんてどうでも

良いからね みんな八回生みたいよ 鶴丸もよ・・・と

言ってやったのよ (\*^^\*)

でもね 心臓強かったよね

平島くん 中村くん達も鹿児島高校 受けに行った

のに 赤路さんと私だけは他の学校には行きません

と言って受けなかったのよ

雛祭りにヒロミちゃんにレターパック送るのに

通販の引き落としが2日なのよね郵便局  から江戸川の 信金に動かさないとならないのよ いつもは月末近くの早目に必ず駅前に行って済ませているのに 今月は2日郵便局で両方し

次の日3日に鹿児島にも着くと思っていたのよ ! そしたら 1 日の夕食位になってからお腹が痛くて 何で ?

何にも悪いのは食べてないし 空き腹でも無いし ? 三分おきとかまるで 陣痛の痛さなのよ ミヤリサンだけのんで 我慢してたら

痛みの間隔が遠くなって

その時 明日の入金どうしようかとおつづく思った !

何買って届けられても 買ったのか ? とか言う人では無いけど 通帳や入金高 見たら みんな解るから 絶対 たのめないしね

こんな事もあるから 滑り止め とかでは無くて他の

学校も受けに行ったの だなーと 今になって 陣痛の痛さと共に反省した

次の日は 何も外では食べられ無いけど 郵便局と

館山の信金には行けました

先日 ラインには 末送信見たいなのは無いかと聞きましたが難しそうだし

貴方だって やって無いし

もう良いからね !

電話  は良いけどね (^-^ ) 8時以降にして やっぱり 何でも話せるし私が陣痛 ?

でも 8時は限界で寝る    人なのよビックリ ! またね 何かと有難う 

## ○大石アンサー



通信手段として SMS と SNS があり似ていますが全く別なのです。

M の方はショートメールの略で@の後ろに契約している通信会社が着きます。docomo やソフトバンクや au 楽天もそうです。

ガラケーはほとんどこれでした。

最近の LINE やウイチャットや Facebook のメッセージやツイッターなどは SNS (ソーシャル.ネットワーク) と言って別の通信手段です。

利用するには SNS の場合は携帯電話番号で自分のアカウントが必要です。堀田さんのメールは

ソフトバンク社(プロバイダー)の SNS です。通信会社ではないけど

@ocn や@nifty と似たようなものです。月に 1000 円程度の契約料がかかります。

他に gmail や outlook などはお金のかからないメールですのでプロバイダーではありません。

ネットワーク(インターネット)を使い無料で世界中と繋がり交信も出来ますが、危険性もないではないです。

又メールアドレス(ソフトやアプリに来て貯まったメール)は基本的には自分で消去しない限りは自然消去はしません。

写真や動画を除いて LINE に貯まったトークも自然消去はしませんので軽くするためにはどんどん自分で消去することをお勧めします。

大事なものは LINE メモに纏めるのがいいかも。

○3月5日



大石くん

いよいよ明日ですね。

明日は 13 時 30 分に文学館の入り口でお会いしましょう。

隈元達雄

了解です。楽しみです。CDと本📖持って行きます。



○大石くん 2月号ありがと❤️ いつも貴方の努力を応援してますよ

黙って見てくださる奥さまにもね🙏 私には感想など言えません！

何人かの男性の皆さまの投書の数々に読ませて頂いただけですよ🌟

またアドレスの普通のメール読んでください早速本📖お送りくださったそうでありがとございます❤️月曜には着きます

！早目に読ませて頂きお返しします

森くんのスタンプ？

ありがとうございます。

そのうちメールします 毎日登校してたからですね！東川くんが

アノ写真見て森くんだけ解ると言いました🙏 それがもう一つ入れて

7時に出すつもりで打っていたら中にある | が上手く動かずあっちこち叩くと絵文字が出て来たりそのうち

当たったらしく出てた

森くんみたいなしるし

吉松典子さんのグループが違って駄目ですか？あの人ラインは解るけどアドレスは沢山になって届かないと言います

SMSで打つのです！ラインの個人に打てたら便利ですけど

もし出来るなら教えて下さい お願いばかりですみません

m(\_ \_)m (そ)れがね昨日森くんにメール出して貴方に送信しようと思って

ラインをやって見たら解らない？昼間にもやって見たけど！寝ていて考えたのらよ やっぱトークと言うところでは無いか  
と思ってラインを開けたら貴方からメールがあり

森くんにやって見たら

出来て今出しました。

トークで声が聞こえたらどうしようかと思ったのよ😊アドレスにとも思ったけどそれでは

と思ってね 解りましたので有難うございました m(\_ \_)m

(こ)今晚 明日午前中在宅でしょうね？

昨日荷物📦を出しました！畑のブロッコリーが育って娘のところに送る事になりましたが

もう一つも大きくなったのがあり その他

それなら一緒に出そうとなりました！15日頃出す予定してました

佐川急便に電話したらこの頃機械になり

本日の集荷ですはねと

言ったので今日でも出せるとはいと押した！

その頃から頭が勘違いして今日出せば日曜に

着くと思って慌てるので字も書けないのに

やっと1枚書いて入れた！月曜日より日曜の方の良いですよ 何て書いてしまった🙏

今日は土曜だと気づいたのは 荷札を書く時でしたがもうテープも張った後でそのまま出しました！兎に角明日荷物📦受

け取ってください 花🌻には水です

ヨロシクお願いします

(お)ヤスミナサイ

m(\_ \_)m 花🌻も無事そうで良かったです！差し上げた物は所有権が移動してますから・・・ですが  
味見てからにしてね😊

大根がかたい見たいでこの頃(何故)ペタンこになるので細目のは丸で潰けたけどやっぱり

味がしみないみたいで

切ってみたりしました

12 時頃に配達があるので待ってましたが絶対来ると思っていた本📖届きませんでした

こんなに遅い郵便📮

郵便ばなれするわよね

絶対来ると思ったのに

本読んで 15~16 日に

荷物📦出す予定が早くなり大慌てで荷造りしました！曜日まで間違ったりまあ着いて良かったです m(\_ \_)m

--○西山レポート受け取りました。

ゆっくり読ませていただきます。



ひと月が早いですね。

今日は隈元くんご夫妻とかごしま近代文学館ホールでオンラインで宮城谷昌光講演を聴きに行きました。

海音寺潮五郎の中国小説と自分の作品についてでした。一応録音しましたがみなさんに聞いて

もらいたいほどの内容ではありませんので消去しました。

○宮城谷昌光さんは、目下、日本経済新聞に若き日の諸葛孔明について連載中



相変わらず、難しい字がたくさん出てきます。

難しい字と言えば、光圀の「圀」は則天武后が創り出した

則天文字ということを知りました。

=====

西山 和宏

=====

○日本遺産「薩摩の武士が生きた町」シンポジウム（動画配信）| 鹿児島日本遺産

大石より



期間中、新名一仁さんの講演を YouTube から観ることが出来ます。

申し込むと email に案内が届きます。

○大石くん

ありがとうございます。

早速こちらも申し込みました。隈元達雄



○ もう動画が入ってきました。

21日までですね。ありがとう。 隈元達雄

○情報ありがとうございます。

早速、メールして観ました。



西山 和宏

○かごしま街道見聞記.高岡筋 19



今回は「薩州家(出水)に嫁いだ義久娘(御平)のショート物語(生涯を辿る)ですね。

義久の3人の娘はそれぞれ波瀾万丈なドラマチックな生涯を辿りましたね。新城然り、亀寿然り…詳しくは島津四兄弟に詳しい隈元くんや本田さんの分野ですからなまじ述べても恥をかくのでやめます。

高岡筋19 霧島市

かごしま 街道見聞記 [42] 桐野 作人

霧島市国分上井の南公園の下に宝篋印塔がひっそりと立っている。この地は戦国織豊期の太守・島津義久の長女御平(於平とも、1551~1603年)の晩年の居住地である。その後、父義久が菩提寺として淵龍院を建立した。右の宝篋印塔は同寺跡にある。

御平は、島津本宗家(相州家)

### 薩州家に嫁いだ義久娘

の永年のライバルで、北薩二帯を支配する薩州家との和解のしるしとして当主・島津義久(1536?~85年)に嫁いだ。薩州家の系図によると、御平は夫義久との間に、判明しているだけで、四、五人の男子をもつている(薩州用久一流)。義虎時代は本宗家との関係も良好であった。

またた(島津家文書之)391号。三月月後、忠辰は釜山近くの加徳島で死去する。それに伴い、御平とその家族は行長に預けられ、その居城である肥後宇土に軟禁された。しかし、慶長五(1600)年の関ヶ原の戦いで西軍に属した行長は処刑されて、宇土は加藤清正の領地となった。今度は清正が御平たちを預かることになった。

御平たちの身の上を心配した義久は清正と交渉して、ようやく御平たちを引き取ることができた。しかし、心労が祟ったのか、同八(1603)年十一月十二日、御平は逝去した。享年五十三。

じつは御平の家族で不明な点がある。それは改易された忠辰の生母は誰かという問題である。忠辰の生年は「説ある。①天文二十(1553)年(薩州用久)。生母を御平とする。しかし、御平は天文十九(1551)年生まれたからありえない。②永禄九(1566)年説(在島津弥市郎系図)。生母が御平とは書かれていないが、義虎の後継者なら御平の実子である可能性が高い。もしそうなら、御平が十六歳で生んだことになる。

ところで、最近、薩州家領だった阿久根の霧島神社の棟札(写し)が発見され、考古学者の新東寛一氏が紹介された(『鉄鉾通信』54号)。それには「天正二年甲戌十一月藤原朝臣義虎・同菊千代丸云々とあり、義虎とその子菊千代丸が同社の造主である。忠辰の幼名は不明だが、菊千代丸である可能性が高くなった。天正(1574)年は、①だと二十二歳、②だと九歳になる。幼名だから①はありえない。②が妥当である。

②は忠辰の弟忠栄の嫡男弥市郎久基が所蔵していた。薩州家の系図だから信憑性が高い。この棟札の発見により、菊千代丸(忠辰が御平の妻子という説が有力になった。もしそうであれば、忠辰は太守義久の外孫にあたる。忠辰の本宗家の外孫に抗心はこの血統がなせる業だったのでないだろうか。

(歴史作家 川崎月曜行に掲載)

○久しぶりの悪役・薩州家登場ですね。とりわけ忠辰(ただとき)の祖父・実久(さねひさ)については無法者、恥知らず、身の程知らずと私は思っています。(ちょっと酷い?)

そもそも薩州家は島津本宗家8代当主・久豊の息子用久(持久)を初代とするれっきとした島津一族ですが、先代忠興の息子5代目の実久になって本家を脅かす存在となります。

薩州家は薩摩出水(現在の出水市)から薩摩川内(現在の薩摩川内市)を支配して、島津本宗家第14代当主・島津勝久を凌駕する存在でした。

その背景には忠興の娘で実久の姉にあたる女性が、本宗家当主勝久の正室となっていたこともあります。このため実久は義弟である自分を島津本宗家の当主にするように迫るのですが、それを勝久に拒絶されます。

実久はこれに憤って横暴を重ねたとされます。以後、実久は大永6年(1526)に入来院氏を圧倒し、薩摩百次城(薩摩川内市)を掌中にするのです。のちに勝久と伊作家第10代当主・嶋津忠良との引き離しを画策したため、忠良らと対立します。

一時、実久は忠良やその子・貴久を窮地に追い込んだこともありましたが、天文8年(1539)の紫原の戦いなどで忠良・貴久親子に敗北します。これ以後、実久は急速に勢力も影響力も失っていきます。

天文22年(1553)に引退し、島津義虎(実久の嫡子)に家督を譲りました。それ以降の展開は今日の「かごしま 街道見聞記」にあるとおりです。

今日の記事に大いに惹かれた私は、簡単な系図を調べてみました。

一つは私の手作りですが、参考にしてください。

この系図からまたいろいろな広がりがあるのですが、きりがないので又いずれ書くことがあるでしょう。

隈元達雄

○隈元クン!

この話、そう!「島津家継承の話」は義弘の長男久保(義久の次の藩主になる予定だった)が朝鮮の巨濟島で病死(享年21)してしまったため起こった、血なまぐさい島津家の暗い事件へと広がっていくのでしたね。



ここに入っていくためには島津家関係系図が必須条件になって来ますね。隈元さん提供の関係図もいいですけど、幸いこの新名一仁氏の講演「九州南部の戦国時代と…」講演会の添付レジメ(9枚ダウンロード可)の中にある4頁目の『以久関係系図』も理解するのに便利です。

添付レジメの5ページ目の中頃にある島津家継嗣の選定…について

候補1:以久嫡男影久と義久二女新城との間に生まれた**忠仍**(信久)と第2候補久保の弟で**義弘の三男忠恒**(のちの家久)との間の陰謀・確執…相良家まで絡んで謎多き死の連鎖が繰り広げられました。

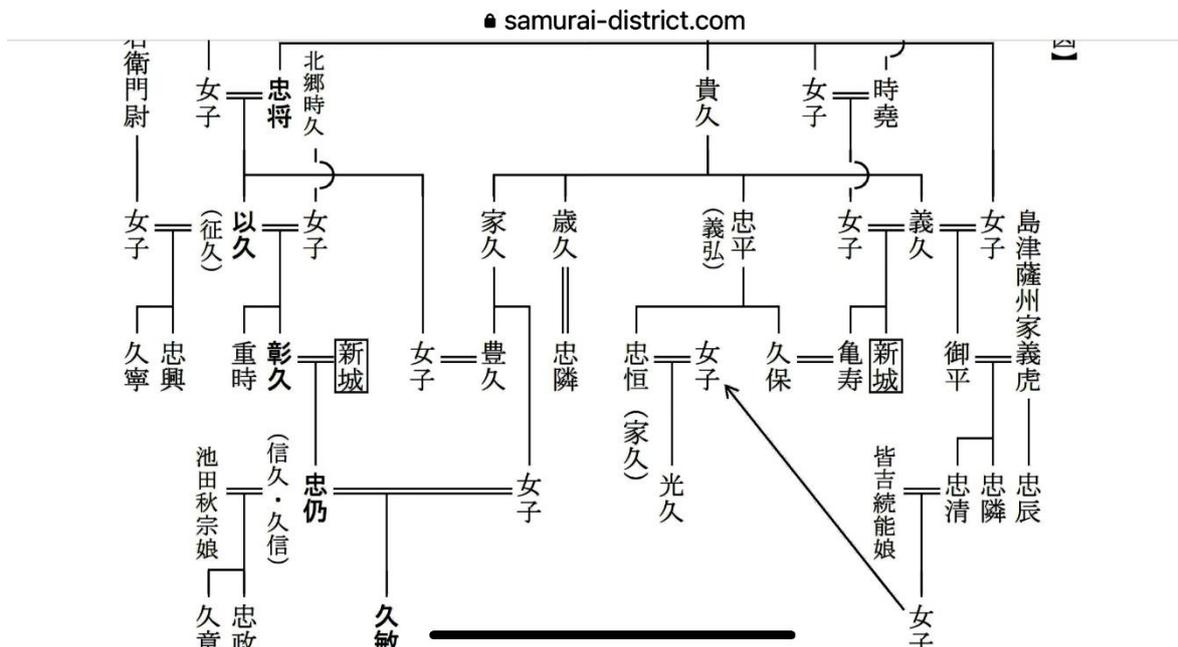
人吉の相良清兵衛の話しに例の「謎の井戸の話し」など…深堀りし過ぎてとうとう4人で人吉の行こうと計画しました。そしていよいよ明日出発という日に、あの「人吉・球磨川大水害」が襲ったのでした。

ふと、考えてみると私たちにとって、エポックメイキングな『8・6大水害』も、その明日は八期生が玉龍全校同窓会の幹事をするという記念すべき日の前日に起きました。

そういう点では、われわれはついていない学年なのかな、と思ったりします。

少ししか聴いていませんが、これから何度か聴いてみたいと思っています。まずはじっくり読んでから聞くというのが僕のスタンスです…

下に『以久関係系図』と新名一仁講演レジメ1ページ目を添付しました。



○大石くんのいうとおりです。

まさに「灯台下暗し」でした。4ページにしっかり系図がありましたね。



この島津家継承問題については、大石くんも手許に持っている「薩摩島津家 最強の真実」の83ページ「忠恒が側室獲得を義久・亀寿に納得させた奇策とは？」と

84ページ「執念深く用心深すぎる男・島津忠恒の暗殺遍歴とは？」を読めば面白いですね。

権力闘争の凄まじさを見る思いがします。自分たちの権力を守る、一方からはその権力を剥奪する、その戦いは身内同士でも何のその、いや身内だからこそ考えられないような殺戮をえています。

結婚などもそうですね。叔母さんと結婚する、側室として妻の姉さんの孫を選ぶ。他にもそうことは枚挙に暇がないようです。この本宗家相続でいえるのは、薩州家は失敗し伊作家は成功したということで何が明暗を分けたのか歴史の面白さでしょうか。

その成功した伊作家の血を引く義久に男の子がいなかったばかりに、弟義弘の嫡男・久保亡き後の後継争いの暗闘も面白いです。結局はうまく落着いたようで何よりでした。

そう言えば、水害後の人吉はどうなっているのでしょうか。

隈元達雄

○私は詳しく読んでいませんが



側室を置きたがるのはお家のため、後継者作りという重大使命があるからだそうです  
女性の権力者でも負けてはいません。

若いハンサムを侍らせますが、これには後継子作りという大義名分が伴わない苦勞があります。

西山 和宏

○3月7日書込み

書き込みしているうちに、「送信」されたようで、改めて、書き直します。



大石・隈元さんが言われているように、島津勝久と実久は、「泥臭い本宗家争い」をしています。

その内容は、隈元さんが書いておられる通りではありますが、その本宗家争いが、島津家第4代勝久、第15代貴久、第16代貴義久へと続く島津家の本家争いの「最後の場面」がこの3代に亘る葛藤の結果、**15代貴久**(島津忠良日新齋・相州家、伊作島津家第10代)の嫡子)によって、初めて、本宗家が固まり、現在の第32代の島津修久当主まで続いているのです。

この第15代までの(主に室町時代の)島津家は、守護家としての**奥州家**が君臨していました。そのほか、**3家(相州、薩州、豊州家)**に分かれていました。

その中で、まさに薩州家第5代当主の島津実久(勝久の妻の弟)と第14代勝久(奥州家)の争いとなっているのです。その時、勝久は伊作氏第10代当主の島津忠良(日新齋)に助力をもらうことになった。

ところが、相州家第2代の島津運久(ゆきひさ)が伊作氏の9代当主の島津善久が亡くなり未亡人となった常盤に再婚を要求し、常盤は、嫡子忠良を相州家の伊作・相州家の「養子」としての条件で、再婚を承諾した。

そのようなことで、伊作氏が相州家となって、実久との争いの中で、当時の奥州家の島津勝久が伊作氏に協力を求めて、伊作氏の島津忠良が伊作氏と相州家として、強大な力で勝久側に味方して、隈元さんが書いているように「紫原の戦い」とか加世田城争奪戦などで島津実久軍を駆逐した。

その後、わが永吉の、当時はまだ、日置南郷(へきなんごうと称していた)の南郷城争奪合戦は、相州家の島津忠良・貴久軍と、当時の南郷城主、桑波田孫六(薩州家、島津実久一派)との間の激戦となり、島津忠良軍が圧倒した。

その6ヶ月後の「吊い合戦」でも、桑波田一族軍・島津実久軍は敗退して、ようやく、島津貴久第15代当主となって、ほかの分家筋の頂点に立ち、以後、薩摩・大隅・日向の三州の統一を果たすことになっています。

その後、第15代当主の島津貴久の子供達、「島津4兄弟」の登場となり、島津家が、最も華やかであったほぼ九州制覇まで行く寸前までの、「栄華の時代」となったのです。

要約しますと、島津家は、当初は奥州家が継続していましたが、島津家内部の抗争(本家争い)が第14代までは延々と続き、それまでは、武家社会の宿命でもあるでしょうが、一族間の勢力争いで、過酷な「骨肉の争い」も繰り返されていたという事に尽きます。

自分としては、島津家を見る時、この15代までの派閥・勢力争いについては、通常の「内部勢力争い」であり、やはり、「戦国武将」として、諸藩の中で、薩摩・大隅・日向の三州を維持しながら、それを背景に、ほかの藩と戦乱に及んだ戦国時代から江戸末期、明治維新に至る倒幕運動が成就する頃までの、薩摩藩としての「歴史」が、この郷土史を学ぶ者にとって、大いに興味があり、その意義もあると感じています。

したがって、この「骨肉の争い」も、味方によっては、面白いという事もあるでしょうが、自身としては、はっきり言えば、「苦手」です。

本田哲郎

## ○3月9日 鉄血宰相ビスマルクのスピーチ

明治4年、日本を出発した岩倉使節団は、翌年3月、統一間もないドイツを訪れました。



鉄血宰相ビスマルクから晩餐会に招かれました。

席上、天才的な外交官でもあったビスマルクは、次のようにスピーチをしたそうです。

「当今、世界はみな親睦礼儀をもって交わっているように見えるが、

それはまったく表面上のことで、内面では強弱相凌ぎ、

大が小を侮るとするのが実情である。

経験からして、万国公法などというものは表向きのもので、

実際に利害が反してくると、結局は力がものをおうのが国際社会の実態である」。

使節団の首脳たちは、このスピーチに感銘を受けたそうです。

=====西山 和宏

## ○平和主義のドイツがウクライナ危機で豹変



ロシアのウクライナ侵攻をきっかけに、ドイツ政府は安全保障政策を根本的に変更して防衛予算の大幅な増額に踏み切る。

徴兵制の復活についても議論する方向だ。その背景には、この侵略戦争がウクライナだけで終わらないかもしれないという危機感がある。

ロシアのウクライナ侵攻をきっかけに、ドイツ政府は安全保障政策を根本的に変更して防衛予算の大幅な増額に踏み切る。徴兵制の復活についても議論する方向だ。その背景には、この侵略戦争がウクライナだけで終わらないかもしれないという危機感がある。



ドイツのショルツ首相は「連邦軍を、確実に祖国を守ることができる近代的な軍隊に作り替える」と宣言した(写真:ロイター/アフロ)防衛予算を約2倍に 2022年2月27日。この日、ドイツのオラフ・ショルツ首相が連邦議会で行った演説は「同国を変えた」演説として歴史に残るだろう。同首相は1990年代の東西冷戦終結以来ドイツが続けてきた「防衛軽視」の姿勢を180度変えて、ロシアの脅威に対抗するため軍備増強の方針を打ち出したのだ。同首相は「ドイツ連邦軍を、確実に祖国を守ることができる近代的な軍隊に作り替える」と宣言した。

2 具体的には、連邦軍のために1000億ユーロ(約13兆円)の特別基金を今年創設して、兵員数の増加、兵器の近代化、装備の調達、同盟国との新兵器の共同開発などに充てる。基金の財源は、国債を発行して賄う。ロシア軍のウクライナ侵攻前に決められていた今年の防衛予算は、503億ユーロ(約6兆5390億円)だった。

この503億ユーロに特別基金の一部を加えて約1000億ユーロとする。つまり独政府は、2022年に連邦軍に投じる予算をほぼ2倍に増やすことになる。

ショルツ首相はさらに「防衛予算が国内総生産(GDP)に占める比率を2%超に引き上げ、これを維持する」と明言した。2%は、NATO(北大西洋条約機構)が加盟国に順守を求めてきた最低比率だ。だがドイツの2022年の防衛予算(当初額)のGDP比率は1.4%にとどまっていた。

前任のメルケル政権は、NATOに対して「2024年に2%目標を達成する」と伝えていた。米国のトランプ政権は「ドイツは2%目標をなかなか達成せず、防衛努力が不十分だ。防衛に金をかけず、国防について米国に依存する裏で、ロシアからガスを買って金を払っている」と厳しく批判していた。そのドイツが、2%目標を一挙に達成するどころか、それを上回る水準を維持すると宣言したのだ。

防衛予算を今年、約2倍に増やした後、毎年の防衛予算はどの程度になるのか。

ドイツの直近(2021年)のGDP(3兆5710億ユーロ)の2%は714億2000万ユーロだ。つまり2023年以降、ドイツの毎年の防衛予算は、2022年の当初予算額(503億ユーロ)に比べて少なくとも約42%増えることになる。

第2次世界大戦の後、ドイツが防衛予算をこれほど急激に引き上げたことは一度もない。ドイツは東西冷戦の終結後「外国軍による侵略の可能性は低くなった」と認識して防衛を軽視してきたため、装備の近代化が遅れていた。ドイツ空軍の

主力戦闘機「トルナード」は 1979 年に生産されたもの。それから約 45 年がたつが、後継機が決まっていない。2017 年末の時点で連邦軍は 93 機のトルナードを持っていた。このうち実際に飛べるのは 26 機にすぎなかった。

3 陸軍の弾薬や銃器、装甲兵員輸送車も不足しており、連邦軍が NATO の要請でバルト 3 国(ラトビア、エストニア、リトアニア)に部隊を派遣する際には、他の同盟国から装備の一部を借りることもある。すでに 50 年近く使われている装甲兵員戦闘車「マルダー」に代えて 2019 年に配備を始めた「プーマ」280 両は、交換部品が不足しており、実戦に投入できるのは全体の 30%にすぎない。しかも開発費用は、当初予定の約 3 倍、7億 2350 万ユーロに膨れ上がってしまった。

軍関係者からは、政府の「防衛軽視」に対する不満の声が、ウクライナ危機がエスカレートする前から高まっていた。連邦軍のうち、陸軍を率いるアルフォンス・マイルス総監はロシアによるウクライナ侵攻が始まった日、ツイッターに「連邦軍、特に陸軍の装備はほぼ白紙状態。NATO を支援するための能力は極めて限られている」と暴露した。連邦軍を退役したエゴン・ラムス元将軍は同日、ドイツ第2テレビ(ZDF)が放映したインタビューの中で「連邦軍は、外国軍による侵略の危険が迫った場合、ドイツを守れるでしょうか」という記者の問いに「守れない」と断言した。

ウクライナへの武器供与を決定 同首相がもう1つ言及したのは、ウクライナに対する武器供与だ。2月8日のこのコラムでお伝えしたように、ドイツは NATO 加盟国の中で唯一、ウクライナへの武器供与を拒んできた。「紛争地域に武器を送ることは、法律で禁止されている」と主張し、ヘルメットを 5000 個供与しただけだった。この態度に対して、駐ドイツのウクライナ大使やポーランドなど東欧諸国から「ドイツは利己的で冷たい」。

ヘルメット 5000 個では、本格的な支援とは言えない」という厳しい批判の声が上がっていた(関連記事「欧州の盟主ドイツがウクライナ軍事支援に二の足を踏むわけ」)。

ドイツ政府は、ショルツ首相が演説する前日の 2月26日に、この政策を 180 度転換。ウクライナに対戦車兵器 1000 挺、携帯式地対空ミサイル「スティンガー」500 挺を送ると発表した。東ドイツの人民軍が保有していたソ連製の携帯式地

4 対空ミサイル「ストレラ」2700 挺も供与する。さらに、オランダ政府が保有していたドイツ製の携帯式対戦車ロケット砲「パンツァーファウスト」400 挺、およびエストニア政府がドイツから約 30 年前に購入していた東ドイツ人民軍の榴(りゅう)弾砲も、ウクライナへの移転を承認した。ちなみにショルツ政権は、エストニアの榴(りゅう)弾砲のウクライナへの供与を一度禁じたために、同盟国から批判されていた。

ワルシャワの国際関係センターを率いるヤヌシュ・ライター氏は独保守系日刊フランクフルター・アルゲマイネ(FAZ)に寄せた記事(3月2日付)の中で「ドイツはこれまで、ロシアとの経済関係を重視して、プーチン大統領に対して宥和的な態度を取ってきた。ショルツ首相の演説は、ドイツがようやくロシアに対して毅然とした姿勢を示したものだ。第2次世界大戦後にドイツの首相が行った演説の中で最も重要な演説の1つ」と高く評価した。ライター氏は「ドイツがようやく目覚め、プーチン大統領の危険性を初めて認識した」と主張しているのだ。

同氏はポーランドの元外交官で、ドイツと米国で大使を務めた経験を持つ。

「プーチン大統領は欧州全体の秩序を破壊する」

ドイツが安全保障政策を大きく転換した理由は、ショルツ首相の演説の随所から読み取ることができる。演説において一貫しているのは「プーチン大統領は、ウクライナ侵攻によって欧州全体を脅威にさらしている」という認識だ。東西冷戦終結後の、欧州の秩序が崩れる危険があるという。

ショルツ首相は「プーチン大統領がウクライナ侵攻作戦を開始した 2月24日は、欧州大陸の歴史の転換点だ。ウクライナ人の自由を奪おうとするこの戦争は、国際法違反であり絶対に正当化できない」と同大統領を強く非難。

さらに「2月24日以降の世界とその前の世界とは全く異なる。我々は、様々な問いを突き付けられている。武力が正義を打ち負かすのを見過ごしてよいのか。プーチン大統領が時計の針を戻してウクライナを19世紀のような弱肉強食が支配す

る地域にするのを許してよいのか。それともプーチン大統領のような好戦主義者に歯止めをかけるべきなのか」と述べた。

ショルツ首相は「プーチン大統領は、ウクライナを欧州の地図の上から消そうとしているだけではない。何十年も続いてきた欧州の安全保障に関する秩序を破壊しようとしている」と述べ、ロシアの戦争が欧州全体に悪影響を及ぼすとの見方を打ち出した。

同首相は、プーチン大統領が欧州を東西冷戦時代のように分割することを狙っていると分析した。ロシアが支配する「勢力圏」と、そうでない地域にだ。同首相は「ウクライナ侵攻は、そのための第一歩だ」と位置づける。

プーチン大統領は、米国とNATOに昨年12月に送り付けた条約案の中で、欧州を1997年の状態に戻すよう要求した。ポーランドやバルト3国などがNATOに加盟する前の状態にするという意味だ。つまり、ロシアはウクライナを支配下に置いた、ジョージア、モルドバ、バルト3国などにも矛先を向ける危険がある。

ウクライナの首都キエフのビタリ・クリチュコ市長は「ロシアは、ウクライナに対してやっていることを次はバルト3国に対して行うだろう」と述べ、**プーチン大統領の侵略戦争はウクライナでは終わらないという見方を示している。**

このためショルツ首相は「プーチン大統領の侵略戦争を食い止める前提として必要なのは、ドイツが防衛力を強化することであり、ウクライナに武器を送ることだ。プーチン大統領に対し、我々はこれ以外の回答を出すことはできない」と断言した。

ロシア軍のウクライナ侵攻が始まる前、ショルツ首相はフランスのエマニュエル・マクロン大統領らとともに積極的な首脳外交を展開した。クレムリンにプーチン大統領を訪れて、欧州の国境線を変更しないよう要請した。プーチン大統領はその裏で、着々と侵攻計画を準備していた。通常は語気を荒らげないショルツ首相が連邦議会の演説で、決然とした態度で軍備拡張を宣言した背景には「プーチン大統領に欺かれた」との怒りが感じられた。

## 徴兵制復活の議論へ

6 ショルツ首相が属する社会民主党(SPD)は伝統的に軍備拡張に慎重だった。

例えば、連邦軍が配備を希望していた攻撃用ドローン(無人機)について、消極的な姿勢を示してきた。3党連立政権に参加している緑の党も平和主義が強い左派政党で、ウクライナへの武器供与に反対する議員が多かった。緑の党のロベルト・ハベック経済気候保護大臣が2021年5月にウクライナ東部の前線地域を視察した直後、「独政府はウクライナ軍に武器を供与すべきだ」と述べたところ、党内で厳しく批判された。当時、ウクライナへの武器供与を提案する議員は、緑の党にほとんどいなかった。

だがショルツ首相は「ロシア軍のウクライナ侵攻によってドイツを取り巻く状況が大きく変わった」として、2月27日に軍備増強の方針を宣言した。主要閣僚など限られた人々に自分の決意を伝えただけで、連邦議会の各党の院内総務に対する十分な根回しもしない独自の判断だったという。だが演説後、大半の議員は席から立ち上がって、首相の決断に賛意を表した。

今のところドイツ人の半分以上が、**ショルツ政権の軍備拡張案に賛成している。**ドイツ公共放送連盟(ARD)が3月4日に発表した世論調査の結果によると、防衛費増額を支持すると答えた回答者の割合は69%で、反対派(19%)を大きく上回った。

○3月10日

大石ケイジのコメント



ロシアのウクライナ侵攻(プーチンの侵略戦争)から2週間が経った。

正直なところ、私はこの争いは、14年前に起きたロシアの「クリミア半島侵攻」と同じくらいの規模の、ウクライナ南部に対する侵略戦争と思っていた。

あの時は、ウクライナから来ていた鹿大留学生(すごい美女)マリアさんと知り合いだったので、帰国後の彼女に安否についての(フェイスブックによる)SNS を送った記憶がある。

まさか今回の様な事態に発展するとは夢にも思わなかった。それはプーチン大統領という人物がこれほど恐ろしい独裁者(かつてのヒトラーやスターリンのような)とは思っていなかったことに由来する。

私たちにとっては遠い国である東西ヨーロッパ間の紛争は、これまでもよく耳にしてきた。

しかし、たいていは民族間や宗教紛争だと認識していた。

我が国やアジアでの隣国との争いは領土(といっても小さな無人島)をめぐる争いが主だったので今回のような一国の存亡をかけた大国と隣国との争いには驚くと同時に罪のない市民を巻き込んでの紛争に同情を禁じ得ない。

加害国も被害国も、ほんの一握りの国家権力者(今度の場合はプーチンの狂気)が、直接施行者である軍隊や警察を使って被害国ウクライナの何の罪もない市民を無差別に殺戮している。

…今回のケースは多分にロシアの市民も国家権力者のほとんども準被害者?のような気がする。

東西ヨーロッパは昔から紛争の絶えないところである。1948年に地中海東部にイスラエルが建国、住んでいたパレスチナ人が追い出され難民となり現在でも紛争が絶えないかと思えば、20世紀末の1999年には、東のユーゴスラヴィアとセルビア共和国の間でコンボ紛争が続いた。

東西ヨーロッパにまたがる『エルドアン大統領のトルコ』では、隣国との小競り合いが後を絶たない。

NATO の加盟国でもあるトルコはウクライナ東部の都市に住む親ロシア派の武装勢力を撃破するのに自国の無人機をウクライナに貸与したりしている反面、ロシア寄りでプーチンと親しい関係にあるエルドアン大統領は2度もプーチンと電話会談を行うなどロシアとウクライナ両国の仲介に意欲を見せて双方とのバランス関係を保っている。

10日にはロシアの侵攻後、初めてとなる両国の「外相会議」が開かれた。結果はプーチン側の強硬姿勢は変わらず、事態の打開は見いだせなかった。

ほどなく首都キエフへの総攻撃がまじかに、そして確実に迫っている。私たちは又、これまで以上に悲惨な罪のない市民の虐殺シーンを見せられることになるのだろうか? 正直、もうあの泣き叫ぶ子供たちの可哀そうな姿を画面で見たくない。

何とかこれだけは止められないのだろうか?

とりあえずは、プーチンの言いなりになっていつか収まってからロシアの主張を撤回することは出来るはずだと思うけど…『命あつての物種』と思うのは私だけだろうか? 今は人も、建物のもひとまず「残すこと」ではないのだろうか? と思う。

アメリカを始めとする西側諸国は核による世界戦争(地球の破滅)を避ける為に、総がかり(経済・文化・スポーツすべて)でプーチンのロシアへ武器以外での制裁を加えている。しかし、果たして、これ以外に方法はないものかと思う。

私たちは、あの太平洋戦争の最期に受けた連日の空爆を憶えている。1ヶ月早く終結していたらと思わずにはいられない。いづれにしても無条件降伏(連合国側の言いなり)を受けるのならば…

本当の勇気とは勇ましく戦うことではない。**負けるが勝ち**という言葉も狂った独裁者を相手にする時は至言だと思う。



ロシアのウクライナ国への「侵攻」が1週間経った。

世界の良識は、「武力」で自己の「意志を貫く」などと、およそ、大きく見れば、世界大戦を2度も経験した現代の「国家」の中で、このような「悍ましい愚策」でもって、自国の「欲求を満足させようという国や為政者がいる事」がまずは、問題である。

1国と言うより、どうも今回は「フーチン政権」の驕りとも言えるほど、彼、および彼の側近というか、「ロシアの覇権主事」が、真正面に出て、「自立しようとしているウクライナ国を、自己の陣営に留まらせる」という、まったく「ロシアの横暴」とも言える「侵攻」を続行している。

自分らのいう事を聞かない間は、「核の使用」もちらつかせるほどの「狂気」とも思える「思惑」をも、ちらつかせることで、

西側諸国の直接の「支援・反撃」を阻止する「意図」が見え見えである。仮に、西側のアメリカ兵が直接、ウクライナ軍として、ロシア軍と対峙すれば、おそらく、世界規模の「核戦争も辞さない破滅の大戦争」に発展することを、見据えてのフーチンの「宣言」であろう。これでは、さしものアメリカ大統領も、兵器供与はできても、直接戦闘に参加は、躊躇せざるを得ない。

この間、軍事施設のみだと、宣言しながら、ウクライナの南北各地へのミサイルなどの大型破壊兵器を持ちての「侵攻」を繰り返している。テレビで見る限り、無残には破壊されたビル群などを見るにつけ、既に多くの市民の方々が死亡させられたり、負傷させられたりしており、隣国などに避難する国民も数百万人にも及んでいるとの事である。

常識としては考えられない「原発施設への攻撃」も始めているとの報道もあり、「フーチン【ロシア】は何を考えているのか？」と、その「狂気」に開いた口がふさがらないほどである。

おそらく、原発施設の心臓部の「炉心部分やその建物そのモノ」は避けているだろうが、まさに「前代未聞の戦術」であり、絶対にこれらへの「攻撃」はやってはならない「戦法」である。

国連総における今回の圧倒的多数の賛成による「戦争阻止決議」も、常任理事国である「ロシア」にとっては、「聞く耳もない」有様であり、今や、世界を相手に「侵攻」を続けている有様である。

さしもの中国も、最初のロシアの侵攻に対する「スタンス」も少しばかり「変容」してきているようである。これでは、ごく一部のロシアに助けられているアフリカ諸国や北朝鮮などが、ロシアの行動を「指示、黙認」しているだけになろう。

世界の世論は、このように、ロシアの暴挙については、敢然と諫める方向になってはいるが、わが国の岸田総理の度々の発言を聞いても、「西側諸国と連携して、しかるべき措置を行う」との繰り返し、同じ表現で、発表しているが、もっと身近に、「ウクライナの現状」を正確に把握しながら、両陣営の中に立って、もっと思い切った施策を構築し、提案すべきと思う。

確かに、国内法ギリギリの、「防弾チョッキ」や今までは見向きもしなかった「避難民の受け入れ」なども表明しているが、今回のロシアが「核の保持」も言い出している現状を見て、唯一の「被爆国」として、敢然と世界に、ロシアに対して、日本の立場と今回のロシアの行動に対して、厳しく対応すべきと思われる。

世界的には、このロシアの蛮行を阻止するには、経済的な制裁を加えることで、この進行を鈍らせることを

狙っているようであるが、ロシアは、石油・天然ガスなどは世界に冠たる生産国であり、少々の経済封鎖などでは、とても今の「侵攻姿勢」を止める施策としては、その効果も疑問視されるだろう。



ここは世界で一致して、「戦争の悲惨さ」を強調しながら、世界の中での一番の保有国である「核兵器」を使用させない方策を考えるべきである。

人を殺める「戦争」がいかにか、歴史的に見て、後世に重大な支障をきたしてきたかは、お互いに「経験」していることである。

ロシアだって、過去、古くはナポレオン戦争、一次世界大戦、二次大戦などで、諸国を相手に痛い「戦争」を経験している民族である。今回だって、一般のロシア国民の中には、この「侵攻」を阻止すべきであるとの意志もあると報道されている。

これらの「声なき声」をいかに生かしてゆくか、その考えを抹殺しようとしているプーチン一派に、ロシアの全国民の対応やその国民の行動が、この紛争のカギを握っているとも言えるだろう。

ともあれ、我々も遠いよその国の「騒動」などと、無関心にすごすことなく、「戦争では何も解決しない」との認識で、このウクライナ問題に、関心を持って対処し、日本政府を支えながら、世界への「発信」を続けようではありませんか?!!--

○大石さん 本田さん

読ませていただきました。



侵攻後 3週間経過しております。

民間人を巻き込んで たいへんかわいそうなことになっております。ロシアのプーチン大統領がどのような人なのか 推測だけで核心をつかまず 動いており、経済封鎖をして じわじわと崩壊するのを待っているような感じで

その間 ウクライナは どれだけの被害、人命が失われるかと 想像つかない状況にあります。

日本 政府も 現法制の下で できる限りの協力援助を実施されているのですが、出過ぎるとロシアから 仕打ちを受けることも考慮せねばならぬ…といった感じで 難しいです。

また、この動きを お隣 中国が 虎視 機あれば 台湾統一化を…と狙っています。 ついでに 日本の尖閣諸島も奪い取ろうと狙っているようです。

ロシアも さっそく 北方領土に経済特区を設定し、20年間変更できないような法制にしたとか？ わずかな距離しか離れていない北海道に 攻めて来て 奪われるような気がします。

日本の三方を囲む ならず者の国々 何をしてくるか？わかりません。世界の警察として 長年君臨した アメリカがアフガニスタンから手を引いてから 世界は混沌となり、国連も今や 調整能力無力 近い将来 世界第2番目の経済大国となろう 一帯一路 中国の台頭目覚ましいものがあります。

民主国家でない国が 世界の警察機能が果たせるか 非常に疑問ですが どこまで 国力が付いてくるか… 疑問です。

まあ 我々 子供の時代 孫の時代の日本という国は どんな国になっているのでしょうか…

全く 想像がつかかねます。 中国に土地などすべて奪われ 共産主義化されてしまうような事にならぬよう  
願望したいものです。 木場 祥雄

○『プーチンによるウクライナ  侵略戦争』について



このような侵略戦争を世界は何回も経験しているにも関わらず、いまだに止められない事に苛立ちを感じます。  
これから先も同じような戦争がくり返し起こるのではないかと心配です。

この戦争はプーチン大統領の独裁欲がハッキリ全面に出て権力の死神がとり付いているような気がしてならない。

連日のマスコミやメディアのコメンテーターの話しを聞きながら「なぜ戦争が止められないのか」過去何回も経験している戦争の教訓が何も生かされていないのはなぜだろう(?)

そのことに付いては余り意見が出て来ないのは矢張り答えがみつからないからでしょうか(?)

経済制裁だけでは止められない事は今回はっきりしてます。

今回のプーチン大統領のやり方を観ていると過去の独裁者が権力という死神に取り憑かれ、最後には悲惨な結果になって行ったヒトラーらと同じ道を歩くことになるのではないかと心配でならない。

○3月11日



日本が、私たちがあの戦争を振り返る時、大石くんの「ここは負けるが勝ち」という考えに「そうかなあ」とは思いつつ、今回は負けるわけにはいかないという思いもある。

確かにあの時、日本が6ヶ月前に敗戦を認めて終戦に至っていれば、日本各地への大空襲や沖縄の悲劇、二つの原子爆弾の投下による大きな損失はなかったかもしれない。

全戦没者310万人というのはあまりにも大きな犠牲だったと思う。

今思うことは、あのアメリカがどうして世界の歴史に残る原爆投下という暴挙をやったのか不思議でならないのですが、私が少しかじった「秋丸機関」の設置の元になった経済的側面でも行き詰まっていた1941年12月に大国アメリカに先制攻撃をかけたことが元々の原因だとすれば、目には目をということだったのかなと思う。

ところが、今回のロシアによるウクライナ侵攻は私には一方的に見えて理解できず、しかも第二次世界大戦の教訓が生かされていない時代錯誤の戦いにしか見えない。

そういう意味で不当なものに対する正義の戦いだから犠牲を払ってでもいいとも思わない。正義で飯は食えないし、命も守れないということもわかっているつもりだが、ここはプーチンのこれ以上に暴挙をさせないためにも西側諸国あげてがんばってほしい気もする。 隈元達雄

大石の友人から

ウクライナ  の知人との交信が出来て、良かったですね  私にも力になれる事はありませんか？



無事に命が守れる事を、切に祈ります。

我が国の先の大戦では、東京大空襲、沖縄戦、広島原爆投下の以前に、戦争終結していたら良かった、と、国民の多くは無念に思ったはず。

🇺🇸米国内でのアンケートでも、早く終結する為に「投下」は良かったという意見が七割以上の結果だったそう...

もしウクライナ🇺🇦の人命を守る為の「負けるが勝ち!!」作戦が功を奏してくれたら良いな、と心願願います🙏

いまプーチンの真の目的は、🇺🇸とNATOを相手に戦っているのだ、と、力説する声もあります...

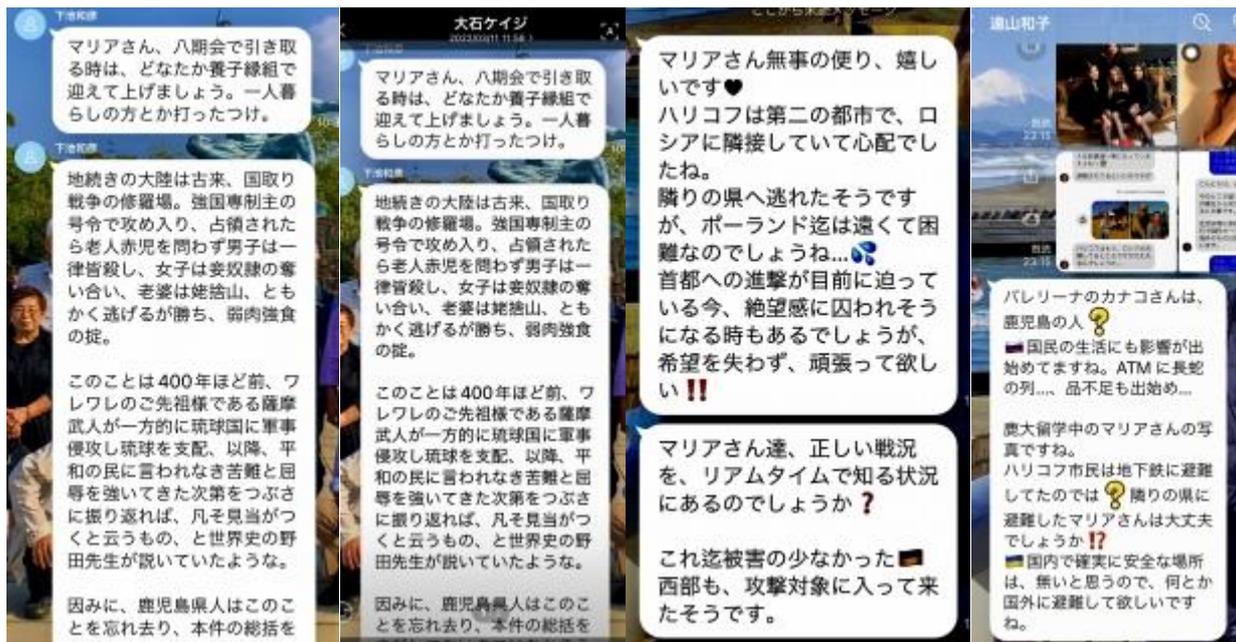
核を用いた第三次世界大戦にだけは絶対発展させないよう、知恵を絞って欲しい。

日本の脅威も、北方領土に留まらず、北海道も危ないと思っていたけど、核戦争となると地球が減じる。

「気狂いに刃物」のレベルでは済まない。

ロシア🇷🇺国民が、早く真実を知り、プーチンへの批判が高まり、大きなウネリとなる事を期待!!

(じ)(か)(ん)(が)(な)(い)



ウクライナに10年前に帰国したマリアさんの消息が気になって、メッセージ（SNS）で連絡をしたら返事が返って来ました。ウクライナの東のハリコフにいたが爆撃がひどくなったので今は田舎の方に逃げたとのことで、ひとまず無事が確認されよかったです。

一方、モスクワにパレエ団にいる佳奈子さんからも連絡が届きました。いろいろ、締め付け（西側諸国からの制裁措置）で生活が、こちらも厳しいとのこと、加害国も被害国もいずれも市民は大変な状況に置かれていることが分かります。

堀田昌子

動画ありがとー  
なかなか面白い 何か深い踊りですね！  
ウクライナの方では？ まさか無いですね

本編ですがもう一人になりました 今日にも読めたのですが終わるかと思うと 明日まで伸ばしました (^^\*)  
後の方がいなかったら連休のあとまで貸してください  
訳はその時書きますね都合あったらメールでも下さい  
桜🌸が咲きますね  
大石さんの散歩道で我が家の桜の園花を連絡して来るので今年見に行こうかと思っています！  
！見ない桜🌸も三年目です  
ね  
m(\_)\_m

Kanako Hatanaka

それは大変ですね！ウクライナは結構凄いなになっていますよね！  
避難されてるといのですが

You unsent a message

ハリコフはもう、ロシアが占領してるところですが大丈夫なんですか...

私の住んでる所は大分離れているので全然大丈夫です。

ただ日本行きの航空便もなく、帰る日本人の方が沢山いらっっしゃいます

大石ケイジ

Kanako Hatanaka

香菜子さんの周りでは、今回のウクライナ問題について、どんな状況？意見なんですか？生活用品が入らなくなっていますか？このSNSは届きましたか？

こんにちは。お元気ですか？

今のところ届いていますよ。月曜日から完全にロックされるとの事です。

生活は特に変わりませんが銀行で国内カードは使えますが海外のものは使えなくなっています。

今は、日本に帰ろうと思えば問題なく帰国可能？ですか？実はウクライナにも鹿児島大学留学生だった友がいてあちらは大変みたいです。

遠山和子

バレリーナのカナコさんは、鹿児島の人？

国民の生活にも影響がはじめてますね。ATMに長蛇の列... 品不足もはじめて...

鹿児島大学のマリアさんの写真ですね。ハリコフ市反は地下鉄に避難してたのでは？隣の県に避難したマリアさんは大丈夫でしょうか？

国内で確実に安全な場所は、無いと思うので、何とか国外に避難して欲しいですね。

堀田昌子

大石ケイジ

ウクライナのマリアさんご無事で何よりです  
読んでいる本の中とウクライナの避難の姿が重なります！戦争は悲惨ですね どうやって毎日を生き延びるのか？中の手紙彼方の言葉かと思ってましたが英語かも知れないと思って見たらローマ字  
私でもウクライナの言葉が読めると笑いました (^^\*) 何とか早く戦争が終わらないものでしょうか？ m(\_)\_m

Akemi Shimada

とても懐かしい写真  
マリアさんはウクライナに今おすまいなのですか？何とか鹿児島においでになられたら良いですね。

11:30

Hatukagami desuna. Sutekina shashin mo, daijina omade mo arigatou gozaimasu! Izumi he no ryokou ha subarashikattadesu! Itsumo yasashi mimna no okage de, watashi no ryougaku ha saikou no ichiren ni narimashita. Kansha shiteimasu.

Watashi ha choudo Uuraina no higashi no Harikofu (Kharkiv)ni imashita ga, tonari ni aru ken ni hanan dekimashta.

上マリアさんから今来ましたメッセージです。大石

Kanako Hatanaka

今は、日本に帰ろうと思えば問題なく帰国可能？ですか？実はウクライナにも鹿児島大学留学生...

それは大変ですね！ウクライナは結構凄いなになっていますよね！  
避難されてるといのですが

You unsent a message

ハリコフはもう、ロシアが占領してるところですが大丈夫なんですか...

私の住んでる所は大分離れているので全然大丈夫です。

ただ日本行きの航空便もなく、帰る日本人の方が沢山いらっっしゃいます

マリアさん、八期会で引き取る時は、どなたか養子縁組で迎えて上げましょう。一人暮らしの方とか打ったつけ。

地続きの大陸は古来、国取り戦争の修羅場。強国専制主義の号令で攻め入り、占領されたら老人赤児を問わず男子は一律皆殺し、女子は妾奴隷の奪い合い、老婆は姥捨山、ともかく逃げるが勝ち、弱肉強食の掟。

このことは400年ほど前、ワレレのご先祖様である薩摩武人が一方的に琉球国に軍事侵攻し琉球を支配、以降、平和の民に言われなき苦難と屈辱を強いてきた次第をつぶさに振り返れば、凡そ見当がつくと云うもの、と世界史の野田先生が説いていたような。

因みに、鹿児島県人はこのことを忘れ去り、本件の総括を...

新福ミツ子

ロシア側は身の危険はないと思います。生活が不自由になりますけど。ぼくの連絡したメッセージの(Facebook)はまあなく使えなくなるはずです。

ウクライナのお友だち一生懸命に感謝の言葉書いてますね。頑張って居るのがテレビと重ねて涙でそうです。

何時も有難うございます。

やすみなさい

お金は、通帳からとかおろせるのかな？

ロシアの国内のお金は引き出しとか大丈夫です。でも危ないので引き出してます

バレエ団の子は帰るって言ってるけど、帰るともうロシアに入国できなくなるから、よく考えます

他の子は一年ビザだから切れるし危ないから帰国だけど、私は3年ビザの許可が最近おりのため、3年間はまだまだ大丈夫です

食べ物も無くなると母がすごく荷きてきてますが、国の生産力はロシアは高んでいるので心配してないです。

ニュースで二人のバレエの子が日本に帰る。と言ったみたい。一線の子がわからないけど。

玉龍八期会 (30)

ロシアに住んでいるkanakさん(日本人バレリーナ)に近況を頂きました。

ロシアの国内のお金は引き出しとか大丈夫です。でも危ないので引き出してます

バレエ団の子は帰るって言ってまけど、帰るともうロシアに入国できなくなるから、よく考えます



○大石さん



さすが 国際派 交際範囲が広い ウクライナのマリヤさん 無事であってほしいものです。プーチン とことん ロシア崩壊するまで 行くのでは …と思われるます。民間人が これから どれだけ 不幸な目にあうのかと思うとつれないですが どうしようもないです。軍艦が 10隻 津軽海峡を通過したり 日本も きな臭くなってきています。早く 解決してほしいものです。

木場 祥雄

○あなたの言葉が心の支えになっていることでしょう。



敗戦時を知る者には、他人ごとに思えません。確かにプーチンは悪いが、プーチンをあそこまで追い込んだ米国とEUもよくない。

大国の利害関係とエゴが小国の犠牲を招くことになる。

西山 和宏

いつ始まったか定かな記憶はありませんが「八期オンライン通信第59号」

の第59号の59を見て、ふと感じたことを述べます。

小学校1年のときには、教科書はなく、ノートや鉛筆もろくにありませんでした



種子島の国上小学校へ入学し、2学期から大龍、2年は郡元、3年～4年は大龍、5年～6年は鴨池、中学は長田、高校は玉龍。

その国上小学校へ入学したとき、ノートはわら半紙を先生から貰い母が2つに追って、端に物差しをあて、上下左右に針で穴を開け、碁盤の目に線を引いてくれました。教科書は墨で塗られたものでした。

2年の郡元のとき、クラスに数着の学生服の割り当てがあり抽選で運よくいただきました。  
3年の頃、数人の机を寄せて編成されたグループにカラー印刷理科の未裁断の教科書が1つでした。  
ジャンケンで誰かが所有者になったのか  
学校に置いて一緒に見たのか記憶はありません。  
みなさまは、どうでしたでしょうか？

=====

西山 和宏

=====

## ○西郷の遣韓論・征韓論について再び書いてみました。



先日の「西郷隆盛の遣韓論・征韓論を見直す」について、私の属する高校の同期生でつくる「八期オンライン通信」でも紹介したところ仲間二人からそれぞれの考えなど大きな教示をもらうことができた。

その二人の私の「西郷隆盛の征韓論」についての感想と自分の考えを述べておられるので概要をまとめてみた。

### kazu n 氏のメール概要

板垣退助への手紙は当時最も激烈な征韓論者であった板垣の行動を抑えるためのもので板垣の論に反対するものではなく、必ずあなたの言う通りにするから、まずは私を朝鮮に行かせてくれというものであったと思う。西郷さんには、私が行けば戦争にならず必ず説得し、平和裏に収められるという目算があった。自信はあったが周囲にいる戦争をやりたがる輩をなだめるために私が行って殺されたら出兵の大義名分が立つと強硬派をおさえたのであろう。

より過激な論で強硬派を抑えるのは西郷さんが最も得意とするところである。

最も述べたいことは征韓論に敗れて下野という見方は短絡的だと思う。廃藩置県直後の2年近くも確たる目的も成果もなく外遊した者たちに反対されたことは腹にすえかねたと思う。維新によって何をなすべきかについて考えや意見に大きな違いがあった。明治6年の政変の本質は征韓論ではなく国家運営に対する考え方と生活態度の批判であった。

### 本○どん氏のメール概要

維新政府成立直後、欧米の政治・経済体制の修学の不平等条約の改定という趣旨で大久保、岩倉などの明治政府の重鎮たちが多勢で2年近くもまだ固まっていない政治状況の中で「外遊」しています。残された西郷、板垣、後藤らの「サムライ」が各藩主たちの反対を押し切って困難な「廃藩置県」や「学校制度の確立と施行」などをやり遂げています。その以前から西郷の弟・従道が台湾の統治を手掛けたり、琉球・朝鮮への貿易・通商などのアプローチはなされていたのですが、朝鮮との交流が上手く行かず打開のために西郷の主唱したのが「自分が先ず朝鮮へ赴き誠意をもって交渉する。その後、具合が悪ければ、それなりの威嚇を行う。については「軍隊を用意すべきである」との「主張」であったと思われます。

欧米の近代的な国家を学んできた大久保以下の重鎮たちは「今は国の振興を図るべきだ。海外の進出など反対」とのことで西郷らの意志が抹殺されたのです。そこで西郷は鹿児島に帰り、今まで自分らの理想郷【明治政府の確立】のために奮闘してくれた武士集団の事での「私学校の開設」「吉野大地の農地開墾事業」【寺山開墾社】などの事業を起こし、武士階級の「活躍の場」（という生計を立てる事）に腐心したのです。この征韓論は自分が例え倒されても、フリーとなっている武士集団の将来を慮っていたという解釈も成り立つと思います。



以上お二人の意見の概要を書いたが私なりにまとめれば次のようなことに集約されるのではないかと思う。

1. 西郷は朝鮮に対する説得の成算は十分持っていた。
2. 一方、西郷の明治政府からの下野は、征韓論に敗れたからではなく、外遊派に対する国家運営に対する考え方の相違と、その生活態度に対する批判がそうさせた。
3. 欧米の空気を吸って近代的な国家を見てきた外遊派は日本の遅れを知り、日本國の振興が先で、海外進出などは今はすべきではないとした。
4. 下野した西郷は在鹿の武士集団のために私学校の開設や農地開墾などで士族の生活を成り立たせるように腐心した。

このお二人のメールを読んで自分の歴史の見方が直線的で、言い換えれば単純であることに気付かされた。そういう意味で今後の歴史を見る姿勢がどうあるべきか大変いい勉強になった。感謝！

そこで以前、南日本新聞で、西郷は「平和交渉論者」か というような記事があったような気がして新聞切り抜きスクラップを手繰ってみた。

出ました！ 日付は2018年(平成30年)9月20日付けの 1868-2018 明治150年 維新鳴動一かごしま再論一 である。

そのスクラップを見ると、私はこの記事は本編(第9部)の3回目までしか私は保存していなかった。

しかし、その後、一年間連載された記事は2019年12月21日 初版発行で1冊の本として刊行されていて、私も購入している。本の名前も新聞記事の見出しと同じで「維新鳴動」 一かごしま再論 である。もちろん南日本新聞社発行で、一年間12部に渡る連載記事とこの本の刊行のために書き加えられた「総括編」を加えた405ページの大作である。下の写真は第9部の書き出しの「転機の外

外交 覇権主義胎動 征韓論」である。

そこにいきなり「西郷は『平和交渉論者』か」とある。

記事を読んでいただければわかるように、「西郷隆盛は征韓論者ではなく、平和的・道義的な交渉による外交樹立を目指していた」という主張によって、通説(多分、征韓論者だったというそれまでの通説のことだろうと私は思う)に一石を投じ、歴史学会で征韓論政変の研究が進んだといわれるが、その考え方への支持は広がっていないようだ、とある。



そのことについては他の学者から「征韓論者」という見方がある一方で他の学者はさまざまな見方をしたことが書かれている。今後も研究は進んでいくのだろうと思うが、私も自分の学びの中から自分なりの歴史観を持つことも大事だと思う反面、歴史は見る人によって、それぞれの角度があり、見え方があると思うので、これからも「知りたい」「見てみたい」「面白い」というこれまでのスタンスで歴史を知っていきたいと思う。



○島津斉彬が藩主になった時、西郷吉之助は、新しい人事、高崎崩れへの報復人事を進言したが、斉彬は、それを退けることの大切さを吉之助に諭した。

吉之助は、禁門の変、長州征伐、江戸開城、戊辰戦争での庄内藩攻めなどでも犠牲者ナン、または最少に抑え穏便な措置をとりました。

これに引き換え、萩の乱の前原一誠、佐賀の乱の江藤新平など乱への対応と断罪も裁判も釈明も聴くことなく素早いものでした。

岩倉使節団、条約改正の交渉または下交渉という見方がありますが出発段階でそのようなことは考えていません。

米国で歓迎ぶりから条約改正の交渉ができるかもしれないと思って大久保一蔵と伊藤俊介は信任状を貰うために帰国し戻ったが交渉開始を米国に拒否された。その間米国に約7か月滞在。

岩倉一行は、当初10カ月の予定で日本を出発したが帰国は1年9か月後であった。

その間、西郷や江藤らの留守政府は大改革を次々と進めたその進捗ぶり有能さに帰国した岩倉一行は驚嘆したであろう。

岩倉一行と留守組の暮らしぶりと国政運営への齟齬が乱を招き過酷な処分が行われることになった。



=====  
西山 和宏  
=====

○ 西山さん

いつものように博識には驚きます。

そしてありがとうございます。



「維新鳴動」は一読の価値アリです。

地元の4人の新聞記者が分担して書いています。

隈元達雄

「維新鳴動」早速、注文しました。



なにやらおもしろそうそうで、楽しみです。

=====西山 和宏=====

○ 【編集後記】

大石けいじ

3月もあと1日になりました。

鹿児島は今日3月30日 九州では一番遅く桜の 開花宣言が出ました。

桜と言えば やはり母校の正門横に植えた『八期の同期の桜』が思い出します。

2008年10月18日に植えた卒業50周年記念の桜の木 14年の年月が過ぎてしまいました。

最初の4,5年は何だかいっこうに大きくならず もしかしたらこのまま枯れてしまうのでは??と心配しました。

花の選定・植樹などを世話してくれた(故)有村友宏さんに申し訳ない…そんな思いで年を経るうちに 本当にほったらかしのままの桜の木が 14年も経つと こんなに大きくなるものと 今日 写真を撮りながら思うことでした。

仲間の誰かが言った 「この木の下で夜桜の宴を開きたいよね!!」は実現しそうにありませんが せめて 全国の皆さんに 成長する八期の桜を画像でお届けしたいと 思っています。

ぼく(大石)も、真っ先に撮ってくれた森さんの桜も 立派な桜ですけど 今日 LINEの八期グループに投稿された下池さんからの写真が なんとも言えず いいものでした。

二人の女子生徒が学校を後にする 姿に 天酸っぱい 感傷に浸る今宵 なんと60年も昔になってしまいました。  
見るほどに 酔うほどに なんとも言えない いい一葉と思いませんか???

